

センター試験58万人出願

現役志願率最高更新 本県は1万6607人

大学入試センターは都道府県別内訳で静岡を占めた。高卒予定者8日、来年1月13、14日に実施するセンター試験の志願者が、前年度より6702人増の58万2669人だったと発表した。受験地の

この中で、高校などを来春卒業予定の現役生は1726人増の47万3568人で8割超

などが146人増の5153人だった。

志願者全体の男女別の割合は、男子55・9%、女子44・1%だった。

来年のセンター試験を利用する国公立大は過去最多の697校で、短大は151校。

村越さん「理想追い続ける」

県内では全国に約4千人の会員を持つ書道団体「日本書心龍会」を主宰する浜松市東区の書家村越照雄さんの受賞が決まった。村越さんは「まだまだ未熟者だが受賞できて大変うれしい」と喜びを語った。

20歳すぎに書を始めた。時には15もの競書誌に作品を投稿しながら腕を磨いた。1965年に日展で初入選し、以降10年連続で入

「浜北人骨」の根堅遺跡 堆積物調査へ 測量地点決定

浜松

決めた。測量アータを解析し、同遺跡の堆積物の状況などを調べる。

調査団の5人は、2体の人骨の一部が発見



根堅遺跡を確認する調査団

本州最古の旧石器時代の人骨化石「浜北人骨」が出土した浜松市浜北区の岩水寺境内にある根堅遺跡を8日、人骨の年代測定を行ったお茶の水女子大の近藤恵博士を団長とする調査団が訪れた。調査団は2016年から行っている再発掘調査の一環として、12日から実施する測量の地点を

8日前、浜松市浜北区

2週間かけて測量に当たり、地形図を作成。調査団は当時の発掘地点の確認などを行う。

島田・モンゴル姉妹校交流

体育授業中、生徒けが 保険未加入

島田市は7、8の両日行われた市議会常任委員会で、モンゴル・ナラン外国語学校使節団が10月下旬に市内中学校の体育の授業に参加した際、モンゴルの男子生徒の放り投げた金属バットが日本の男子生徒の顔を直撃し、救急搬送されたと報告した。生徒は歯が折れ

るなどのけがを負い、治療中という。

市によると、治療費などの対応について協議しているが、モンゴルの生徒は海外旅行保険などに未加入だった。市は「海外との交流事業を実施する場合は、対人対物を含む保険の加入を必須要件とするなど、今後の受け

入れ体制について市国際交流協会などと話し合いを進める」と説明した。

市によると、10月30日、運動場でティーボールを行った際に起きた。モンゴルの生徒が打撃直後、一塁に走り出した時に投げたバットが後方にいた生徒に当たった。11月6日にモンゴル側の学校長と生徒の父親が緊急来日し、生徒の家族に謝罪した。

養育費 漫画で分かりやすく

静大サークルなどのパンフ、中部市町配布



漫画を取り入れたパンフレット「子どものために養育費」=8日午後、県庁

県司法書士会の離婚問題研究会と静岡大公認サークル「漫画研究会」らの学生は、「子どものために養育費」と題した市民向けパンフレットを作製した。メンバーが8日、県庁で発表した。2500部を発行し、県中部の市町やハローワークなどに無料配布している。